

フォーラムテーマ:「GIS&オープンデータを使った地域研究」

フォーラムの目的

政策情報学フォーラムは、議論を行う上で時間的制約などがある研究大会などのイベントとは異なり、小規模で政策情報学に関連した様々なテーマを取り扱い、時間をかけた密度の高い議論を行っていくことにあります。また、さまざまな異なる立場の交流と協働の「開かれた対話と創造の場」として構想されており、現実のさまざまな政策問題を探求・検討し、実際にその解決策を提示しながら、社会の持続的発展に寄与することを狙いとしています。

◆開催日時: 2022年7月9日(土) 14:30~17:00

◆開催会場: オンライン開催

◆フォーラムテーマ趣旨:

地理情報は、古来より重要な「政策情報」の一つであり、それゆえ、しばしば為政者に独占されるものであったが、今日では、地理情報システム(GIS)の一般利用が可能になり、地理情報の「民主化」が進んでいる。実際、近年ではこの GIS を活用して、市民生活上の問題解決につなげようという「市民協働」も活発に行われている。そこで、今回のフォーラムでは、地域の課題解決について GIS およびオープンデータを積極的に活用されている Civic Tech 団体「URA-CIMA」代表の小泉和久氏をお招きし、GIS の利用に関するワークショップを行っていただき、併せて GIS による地域研究が、いかに市民生活ならび行政上の問題解決に貢献するのかについても、報告していただくことを予定している。参加の皆様には、小泉氏に行っていただくワークショップに参加していただき、政策情報としての GIS の有効性と将来性について感じていただければ幸いです。



◆基調報告講師: 小泉 和久 氏(Civic Tech 団体「URA-CIMA」代表)

◆基調報告演題: 「GIS&オープンデータを使った地域研究」

◆プログラム:

14:30-14:40	開会挨拶 政策情報学会 会長 若井 郁次郎 (モスクワ州国立大学)
14:40-14:50	フォーラム趣旨説明 フォーラム実行委員会委員長 淵元 哲 (千葉商科大学)
14:50-16:10	ワークショップ
16:10-16:20	休憩
16:20-16:40	基調報告:小泉和久氏 「GIS&オープンデータを使った地域研究」
16:40-17:00	フロア討論・まとめ

◆主催: 政策情報学会

◆参加費: 無料

◆出欠連絡の方法: 準備の都合上、出席・欠席に関わらず、7月2日(土)までに政策情報学会 Web サイトから出欠連絡をお願いいたします。

【学会 Web サイト】 <http://www.policyinformatics.org/>

※非会員の方の参加も大歓迎です。また参加希望者には申込締め切り後、フォーラム実行委員会もしくは事務局より参加方法についてメールを差し上げます。

問い合わせ先: 政策情報学会事務局 info@policyinformatics.org